

## 第2期苫小牧市役所エコオフィスプランの運用実績（平成28年度）

苫小牧市役所エコオフィスプラン（計画期間：平成27年度～31年度）に基づき、市役所全施設の事務・事業活動に伴う温室効果ガス排出量及びエネルギー使用量を公表します。

温室効果ガス排出量は60,376 t-CO<sub>2</sub>となり、基準年度に比べ8.9%減少しました。

### （1）温室効果ガス排出量について

#### 排出区分別温室効果ガス排出量

排出区分	25年度(基準年度)		28年度		31年度(目標値)	
	t-CO <sub>2</sub>		t-CO <sub>2</sub>	増減	t-CO <sub>2</sub>	増減
エネルギー起源 CO <sub>2</sub>	42,337		43,797	3.4%	40,220	-5.0%
非エネルギー起源 CO <sub>2</sub> *1	23,935		16,579	-30.7%	22,931	-4.2%
合計	66,272		60,376	-8.9%	63,151	-5.0%*2

※1 非エネルギー起源 CO<sub>2</sub>は廃棄物燃焼による排出量です。

※2 目標値について、省エネ法でエネルギー消費原単位を毎年1%以上削減することが求められていることから、小数点以下を四捨五入し5%としています。

※ 電気の CO<sub>2</sub> 排出原単位は25年度（基準年度）の値を使用しています。なお、電気の CO<sub>2</sub> 排出原単位は1キロワット時の電気を発電したときの CO<sub>2</sub> 排出量であり、北海道電力㈱の値を使用しています。

#### <エネルギー起源 CO<sub>2</sub>>

エネルギー起源 CO<sub>2</sub> の排出量は基準年度と比べて3.4%増加しました。

主な要因として、閉鎖していた施設の再開や新施設開設に伴う施設面積や設備の増加、施設の使用時間の増加などが挙げられます。

#### <非エネルギー起源 CO<sub>2</sub>>

非エネルギー起源 CO<sub>2</sub> の排出量は、市が収集した焼却ごみに含まれるプラスチックの燃焼から発生したもので、基準年度と比べて30.7%減少しました。

主な要因として、平成25年7月から開始した家庭ごみ有料化により、分別の意識が高まりプラスチックごみの焼却量が減少したことが挙げられます。

